

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学校	教科	種目	学年
29-52	高等学校	外国語	コミュニケーション英語Ⅲ	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教科書名		
226 チアーズ	コⅢ・351	ALANTIS Hybrid English Communication III Advanced		

1. 編修の基本方針

教育基本法第二条の目的を達するために、以下を編修の基本方針とした。

- 一 言語の特性等を幅広く学びながら、コミュニケーションを図ろうとする態度を育成できる内容とする。
- 二 多様な価値観を学んだり、その内容を他者と交換し合ったりペアワーク等をしたりすることで、互いの意見が尊重される経験を積み重ねられるような構成とする。
- 三 外国語を通じた世界観に触れ、その有用性や実用性等の知識を学ぶ中で、自他の違いを重んじる態度を育むと共に、主体的に社会に貢献しようとする態度を養えるような内容を扱う。
- 四 世界を舞台とした題材を選んだり、世界に視点を置いた価値観に触れたりすることで、生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与する姿勢に広がりを持てるような構成とする。
- 五 進んで外国の文化を理解しようとする態度を育成するとともに、国際理解や国際感覚を養い、国際社会に関心が持てるような内容を厳選する。また、我が国について掘り下げて考えることができるよう配慮する。

2. 対照表

目次順にそった対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所 (ページ数)
Lesson 1 The Meaning of True Friendship	「真の友情とは何か」をテーマとする。フランクリン・ルーズベルト大統領夫人の残した言葉をきっかけに、友人間に最も重要なこととは何か、を考える。(第1号) Loyalty, Honesty, Forgiveness と題した3つのストーリーを通して、自他の敬愛と協力を重んじる態度を養いつつ、友人間で起きたトラブルに対して、どんなアドバイスができるのか思案する。(第3号)	1-12
Lesson 2 India	インドは世界で7番目に面積が大きく、2番目に人口の多い国である。近代インドの基本的な知識を深めると共に、マハトマ・ガンジーが生まれた背景やインド独立に向けての経緯を知る。(第1号) また、なぜインドは急速な発展を遂げられたのかを学びつつ、一方で貧困層などの問題を抱えていることを学ぶ。他国の実状と課題を知り、国際社会に関与する態度を養う。(第5号)	13-24

<p>Lesson 3 The Japanese Language from a Foreigner's Point of View</p>	<p>ALT の Eddy と JTE のジュンコの会話を読んで、外国人が感じる日本語への印象や疑問点についてを知る。(第5号)「好きな言葉」「嫌いな言葉」を尋ね合うのは外国人と会話をしていてよく問われるトピックでもある。この題材を通して、日本人として自分はどのように答えるのかを実体験してほしい。相手の考えを尊重し、自分の考えを表現できる力を身に付ける。(第2号)</p>	<p>25-36</p>
<p>Lesson 4 A Train Trip to Norway - The Oslo to Bergen Line</p>	<p>Jason と Naomi の旅行記を読んで、ヨーロッパの最も美しい路線の1つと言われる「ベルゲン線 (Bergensbanen)」について学ぶ。(第4号) 標高 1200 メートルの駅を通過するというその絶景の鉄道路線と、この鉄道がどのようにしてつくられたのか、その歴史的背景についても学ぶ。(第1号)</p>	<p>37-48</p>
<p>Reading 1 Leonardo da Vinci - Da Vinci, the Artist The life and works of one of the greatest artists in history</p>	<p>コミュニケーション英語Ⅰでは音楽家(モーツァルト)を、コミュニケーション英語Ⅱでは作家(ディケンズ)の生涯について読んだ。コミュニケーション英語Ⅲでは、芸術家であり発明家でもあるレオナルド・ダ・ヴィンチを紹介する。 Reading 1 では芸術家としての彼の側面とその生い立ちや歴史的背景について学ぶ。彼の豊かな創造性が生まれた背景にはどんなことがあったのか、自身の進路選択と重ねながら読み進め、職業観が広がることをねらいとする。(第2号)</p>	<p>49-60</p>
<p>Lesson 5 The Human Hybrid</p>	<p>科学技術の進歩により、100年後の私達は今の私達とは全く異なっているかもしれない。CRISPR、出生前の遺伝子操作、そして加齢現象を抑える老化防止操作が科学的に可能であることが証明されてきている。しかし、果たしてそれは道徳的に良しとされるものなのだろうか。現実には起きている事象に目を向けつつ、その課題について考える。(第1号、第4号)</p>	<p>61-72</p>
<p>Lesson 6 Marriage</p>	<p>海外では近年、「結婚」の考え方や在り方が変化してきている。(第1号) 結婚を望まない人の理由を様々な角度から学びつつ、また、婚姻関係にも変化が生じてきていることにも目を向ける。世界には様々な「結婚」の形があるという多様性を受け入れつつ、自身の結婚観、人生観について考えるきっかけになることを期待する。(第2号)</p>	<p>73-84</p>
<p>Lesson 7 Strange Laws</p>	<p>世界における奇妙で不可思議な法律について知識を深める。(第1号) 法律は人々の安全を守り、権利を保証するものである。その観点は変わらないのだが、世界には面白おかしい法律があるのも事実である。日本にも同様に奇妙な法律がないか、この題材を機に考えるとともに、社会人としてスタートする前の予備知識として、どのような法律があるのかを学び、視野を広げる。(第2号)</p>	<p>85-96</p>

Lesson 8 Japan's Achievements (by the Numbers)	「数」でみる日本の功績について学ぶ。第二次世界大戦後、日本の成し遂げた功績を、オリンピックのメダル獲得数、ノーベル賞受賞数、及び、日本の国際支援貢献度を数値化し、世界やアジアと比較して客観的に分析する。日本の偉業に誇りを持つとともに、日本人として、どのように世界や平和に貢献できるのかを考え、その態度を共に養う。(第5号)	97-110
Reading 2 Leonardo da Vinci - Da Vinci, the Inventor and Architect The inventions and designs of Leonardo da Vinci	Reading 2では発明家としての彼に焦点を当てる。発明家に移行していった時代の推移やルドリーコ・マリーア・スフォルツァ(ミラノ公)との出会いについて学ぶ。また彼が発明したものが、今日の生活にどのように影響を与え、どの分野の原形になっていたのかについて知識を深める。ダ・ヴィンチの発明に潜む彼の「想い」にも焦点をあて、彼の人間性とはどんなものであったのかを考える。(第1号)	111-123
Lesson 9 Global Warming	「地球温暖化」について学ぶ。地球温暖化とは何か、それを引き起こす原因は何か、また、どのようにして進行を抑止することができるか、等についての科学的な内容を英語で読むことに挑戦する。環境の保全に寄与する態度を養う。(第5号)	124-138
Lesson 10 Random Acts of Kindness	見知らぬ人からの親切な行い、見知らぬ人への親切な行い、その双方について考える。相手を思いやる行動や困っている人に手を差し伸べる大切さを6つの物語から読み解く。自他の敬愛と協力を重んじ、実際に自主的に行動にできる人間力を高める。(第3号)	139-152
Reading Techniques - 長文読解問題 10題	これまでの Lesson 1～10までの各レッスンの内容を長文問題として再度触れることで知識の定着を図れるよう留意した。(第1号)	153-173
Word and Expression List 単語慣用表現の一覧表	各レッスンの新出単語、慣用表現の一覧表を載せた。(第1号)	174-180

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

- 一 外国語を通じてコミュニケーション能力を総合的に育成するため、実際の言語使用場面や言語の働きに留意した。特に外国語を日常使用している人々にとって自然な表現であることに重きを置き、本書の英語に触れることで、生きた英語が身に着き、また運用できるよう配慮した。
- 二 レッソンの主題となるトピックを入念に選定した。生徒の日常に身近な題材を選ぶことで、興味関心を高めることをねらいとする。また、多様なものの見方や考え方を養うとともに、公正な判断力が養えるような題材にも挑戦した。様々な価値観に触れることで、国際社会に生きる日本人としての自覚を高め、また自分の意見を表現し、社会に参画できるような態度が育成できるよう工夫した。

図書構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
Lesson 8 Japan's Achievements (by the Numbers)	我が国の功績を「数」を通して客観的に把握するとともに、外国人の視点からみた日本の偉業を知ることは、我が国に「誇り」を持つと共に、郷土を愛する態度を養うことにもつながると考える。来る 2020 年のオリンピックに向けて、国際人として「おもてなしの精神」で海外からの選手等を迎えること、また、過去の栄光に引き続き、さらなる日本の発展に寄与できるよう態度が養えるよう配慮した。(学校教育法第二章三)	97-110
Lesson 5 The Human Hybrid	科学的な事象を理解し、英語でも表現できるよう配慮した。他教科との有機的な関連を持たせられることを期待する。(学校教育法第二章七)	61-72
Lesson 9 Global Warming		124-138

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

※受理番号	学校	教科	種目	学年
29-52	高等学校	外国語	コミュニケーション英語Ⅲ	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教科書名		
226 チアーズ	コⅢ・351	ALANTIS Hybrid English Communication III Advanced		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

特色1・繰り返しによる学習

基礎的・基本的な知識・技能をしっかりと身に付けさせるため、導入から展開へ、少しずつつながりや広がりを持つよう意を用いた。例えば、トピックに関する事項や問題がレッスン全体に渡ること、語彙を少しずつ紹介し、かつそれが外国語を日常使用する人々にとって自然な表現であることに留意した。実際に学んだ内容が社会生活においても活用できるように反復の練習を通して確かな定着を目指す。

特色2・段階を追った発展的な問題

学んだ内容を、個人からペアワーク、3～4人のグループワーク、そしてクラス全体で意見交換できるような構成とした。少しずつ発展的な問題に取り組むことによって、自ら考え、判断し、表現する力が身に着くよう、またその過程で少しずつ外国語学習に自信が持てるよう配慮した。

特色3・継続的な学習意欲の育成

自主的に学習に取り組み、外国語に興味・関心が強まるよう、外国語を使用している人々を中心とする世界の人々やその世界観をふんだんに味わうことができるような構成とした。視覚に訴える写真、図、題材、問題等が、学習意欲を継続させることを期待する。

2. 対照表

A. 各レッスンにおける構成とその対照表（1レッスンにおける授業時数）

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当時数
1. Cover Page レッスンで学ぶトピックや文法事項についての概要を把握する。	内容の取扱い コミュニケーションⅠ内容の取扱い（2）生徒の実態に応じて、多様な場面における言語活動を経験させながら、中学校や高等学校における学習内容を繰り返して指導し定着を図るよう配慮するものとする。	各レッスン 1 ページ目	
2. Vocabulary from Context 短い自然な会話表現から文脈をひも解き単語の意味を予測する。	内容（2）ア 英語の音声的な特徴や内容の展開などに注意しながら聞いたり話したりすること。 内容（2）ウ 未知の語の意味を推測したり背景となる知識を活用したりしながら聞いたり読んだりすること。	各レッスン 2 ページ目	
3. Pre-Reading 本リーディングに入る前に、そのトピックについての予備知識を導入する。	内容（2）イ 論点や根拠などを明確にするとともに、文章の構成や図表との関連などを考えながら読んだり書いた	各レッスン	

<p>効果的な質問や写真を用いて、生徒の知的好奇心を刺激し、想像力を培う。</p>	<p>りすること。</p>	<p>3 ページ目</p>	<p>8 ~10</p>
<p>4. Reading Part 1-4 4 パートに分かれる。既習文法事項を盛り込み、繰り返し学習する。段階を踏んだアプローチによって、着実に定着していくことをねらいとする。</p>	<p>内容（1）ア 事物に関する紹介や報告、対話や討論などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。</p> <p>内容（1）イ 説明、評論、物語、随筆などについて、速読したり精読したりするなど目的に応じた読み方をする。また、聞き手に伝わるように音読や暗唱を行う。</p> <p>内容の取扱い 「コミュニケーション英語Ⅰ」の3と同様に取り扱うものとする。</p> <p>コミュニケーションⅠ内容の取扱い（2） 生徒の実態に応じて、多様な場面における言語活動を経験させながら、中学校や高等学校における学習内容を繰り返して指導し定着を図るよう配慮するものとする。</p>	<p>各レッスン 4、5、6、7 ページ目</p>	
<p>5. Comprehension and Communication 復習に、本リーディングの内容理解問題を行う。出題形式を10種類以上と多岐にわたる内容で構成した。様々な問題に触れることで発展的な内容にも対応できる力を身につける。5W1Hの質問、T/F など一般的な問題を盛り込んだ。</p>	<p>内容（1）ウ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、話し合うなどして結論をまとめる。</p> <p>内容（1）エ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについてまとまりのある文章を書く。</p>	<p>各レッスン 8 ページ目</p>	
<p>6. General Comprehension 本文の大意を把握する問題を通し、レッスンをより深く理解する。</p>	<p>内容（2）イ 論点や根拠などを明確にするとともに、文章の構成や図表との関連などを考えながら読んだり書いたりすること。</p>	<p>各レッスン 9 ページ目</p>	
<p>7. Rephrasing of Part 1-4 及び Rephrasing (continue) 「同義語」を使って本文を別の言い回しで表現する。本文の内容理解と共に、どのようにして大意をまとめるかについて実践を通して学ぶ。</p>	<p>内容（1）ウ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、話し合うなどして結論をまとめる。</p> <p>内容（1）エ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについてまとまりのある文章を書く。</p>	<p>各レッスン 9～10 ページ目</p>	<p>1</p>
<p>8. Optional Reading -The Writer's Corner</p>	<p>内容（1）ア 事物に関する紹介や報告、対話や討論などを聞いて、</p>		

<p>外国出身者がどのような意見を持っているのかに触れる。外国人の考え方を 知ることは、外国人との円滑なコミュニケーションに役立つ。</p>	<p>情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。</p>		
<p>9.Two more readings Problem / Advic Cultural Point / Cultural Misunderstanding Point / Counterpoint Opinion 本文のトピックに関連した内容を、別の視点で書いた文章2題に挑戦する。自分自身の考えを書いたり討論したりする活動にも活用できる。</p>	<p>内容（1）ウ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験した ことに基づき、情報や考えなどについて、話し合う などして結論をまとめる。</p> <p>内容（1）ア 事物に関する紹介や報告、対話や討論などを聞いて、 情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえ たりする</p>	<p>各レッスン 11～12 ページ目</p>	<p>1</p>
<p>10.Listening, Writing, Speaking (Class Discussion) 学習した内容をもとに、情報や考えを理解したり、概要や要点をとらえたりする。レッスンのトピックに関して自分の意見を英語で表現する力を身につける。</p>	<p>内容の取扱い コミュニケーション英語 I 内容の取扱い(1) 中学校におけるコミュニケーション能力の基礎を養うための総合的な指導を踏まえ、聞いたことや読んだことを踏まえた上で話したり書いたりする言語活動を適切に取り入れながら、四つの領域の言語活動を有機的に関連付けつつ総合的に指導するものとする。</p> <p>内容（1）エ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験した ことに基づき、情報や考えなどについてまとまりのある文章を書く。</p> <p>内容（2）エ 説明や描写の表現を工夫して相手に効果的に伝わるように話したり書いたりすること。</p> <p>内容（1）ウ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験した ことに基づき、情報や考えなどについて、話し合う などして結論をまとめる。</p>	<p>各レッスン 12ページ目</p>	
		<p>計</p>	<p>10～12</p>

B.目次順にそった対照表（年間指導時数）

※各レッスンについて、内容は上記の通りなので、ここでは単語合計数、側注単語数、側注表現数のみを記載する。なお、巻頭 ii ページの word map を合わせて参照する。

側注に示される単語・表現の内、新出単語として扱われる語： 635 語

側注外で扱われる新出単語： 86 語

（第三章英語に関する各科目共通する内容等ア連語及び慣用表現）

※各レッスン以外の内容について（リーディング等）は内容に記載した。

図書の構成・内容	学習指導要領の内容等	該当箇所 (ページ数)	配当 時数
Lesson 1 The Meaning of True Friendship	単語合計数 800 側注単語数 40 側注慣用表現数 12	1-12	10
Lesson 2 India	単語合計数 850 側注単語数 42 側注慣用表現数 12	13-24	10
Lesson 3 The Japanese Language from a Foreigner's Point of View	単語合計数 900 側注単語数 44 側注慣用表現数 12	25-26	11
Lesson 4 A Train Trip to Norway - The Oslo to Bergen Line	単語合計数 950 側注単語数 46 側注慣用表現数 12	37-48	11
Reading 1 Leonardo da Vinci - Da Vinci, the Artist The life and works of one of the greatest artists in history ※Reading 1 と合わせ、 Communication 1,2 で学んだ60の 文法事項を総復習できる構成。	単語合計数 1000 側注単語数 48 側注慣用表現数 15 内容（1）ア 事物に関する紹介や報告、対話や討論などを聞いて、情報や 考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。 内容（1）イ 説明、評論、物語、随筆などについて、速読したり精読した りするなど目的に応じた読み方をする。また、聞き手に伝わ るように音読や暗唱を行う。 内容（1）エ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、 情報や考えなどについてまとまりのある文章を書く。 内容の取扱い 「コミュニケーション英語Ⅰ」の3と同様に取り扱うものとする。 内容の取扱い（2） 生徒の実態に応じて、多様な場面における言語活動を経験させ ながら、中学校や高等学校における学習内容を繰り返して	49-60	8

	指導し定着を図るよう配慮するものとする。		
Lesson 5 The Human Hybrid	単語合計数 1050 側注単語数 50 側注慣用表現数 18	61-72	12
Lesson 6 Marriage	単語合計数 1100 側注単語数 52 側注慣用表現数 18	73-84	12
Lesson 7 Strange Laws	単語合計数 1150 側注単語数 54 側注慣用表現数 18	85-96	12
Lesson 8 Japan's Achievements (by the Numbers)	単語合計数 1200 側注単語数 56 側注慣用表現数 18	97-110	12
Reading 2 Leonardo da Vinci - Da Vinci, the Inventor and Architect The inventions and designs of Leonardo da Vinci ※Reading 1 と合わせ、 Communication 1,2 で学んだ60の 文法事項を総復習できる構成。	単語合計数 1250 側注単語数 58 側注慣用表現数 21 内容は Reading 1 と同様。	111-123	8
Lesson 9 Global Warming	単語合計数 1300 側注単語数 60 側注慣用表現数 24	124-138	12
Lesson 10 Random Acts of Kindness	単語合計数 1350 側注単語数 62 側注慣用表現数 24	139-152	12
Reading Techniques 長文読解問題 10 題	内容 (1) エ 聞いたたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、簡潔に書く。	153-173	10
Word and Expression List 単語慣用表現の一覧表	内容の取扱い 「コミュニケーション英語 I」の3と同様に取り扱うものとする。 内容の取扱い (2) 生徒の実態に応じて、多様な場面における言語活動を経験させながら、中学校や高等学校における学習内容を繰り返して指導し定着を図るよう配慮するものとする。	174-180	適宜
		計	140